

農畜産物の販売や食のブランド化で連携 全農が「一つの産地、東北」を発信

6県本部が販売力強化で全農東北プロジェクト！

東北の食
未来プロジェクト



全農東北
ZEN-NOH TOHOKU

全農東北は、東北6県本部が力を合わせて自慢の農畜産物をより多くの人に伝え、単県ではできなかったことを実践するプロジェクトです。

東北6県の農業産出額は合計すると約1兆2000億円超。国内シェア15%に達し、日本最大級になります。

その6県が協力し、東北の農畜産物の「新たな販売・PRの場の獲得」、「商品開発」、「ブランド化」などをすすめています。

具体的には、平成28年7月から9月にかけて

は、プロジェクトの趣旨に賛同を得た百貨店、量販店と連携し、東北産に限定した青果物の売り場づくりを展開。期間限定でナガイモ・コカブ(青森)、桃・トマト(福島)、枝豆(秋田・山形)、ツルムラサキ(宮城)、オカヒジキ(山形)、リンゴ(青森、岩手、山形)を複合販売しました。

また、「ササニシキ」「あきたこまち」「つや姫」など、各県特産のお米でつくるスイーツを「お米のプリン」として商品開発した他、東北6県を地盤とする7地方新聞社と連携した東北の多彩な食のPRや、実需者に対し「東北」

を丸ごと売り込む事に挑戦しています。

全農東北プロジェクトメンバーは県本部・本所を合わせ現在31人。今後も「一つの産地、東北」を発信するための活動を強化します。

3月1日～7日には東京・JR東日本品川駅中央改札内コンコースで、東北産の青果物、米、加工品などを販売・PRする「全農東北アンテナショップ」を出店。(エキュート品川 サウスと共同開催)

数多くのお客さまに、東北産農畜産物の魅力を伝えます。



東京・JR東日本品川駅中央改札内で全農東北アンテナショップを出店

全農が進める「たくましい農業づくり」をシリーズで紹介します。